



ききょう便り

令和2年 春号(第61号)



「ききょうの里の春」

「就任のご挨拶」

常務理事 佐伯 岳彦



皆様こんにちは。このたび4月1日に開催された評議員会、理事会を経て常務理事に就任いたしました佐伯岳彦です。前任の諏訪光生常務理事と交代となりました。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年末以来、新型コロナウイルス感染症が猛威をふるっており、未だ終息が見えません。先行き不透明な不安感は日を追うごとに強く、色濃くなってきています。先日、本会でも臨時で感染対策委員会が開催され、活発な意見交換がなされるとともに一段と強化された対応策が検討され即日実施されております。今後とも関係機関からの情報等を注視していく所存です。

さて、私の趣味に灯台巡りがあります。資料によれば日本には灯台が約5600基もあるとのこと。日本最初の洋式灯台は1869年(明治二年)2月に点灯した観音埼灯台(神奈川県)で、着工した11月1日が灯台記念日となっています。灯台は、それぞれ「光り方」(灯質)が全て異なっており、識別できるようになっています。①不動光②明暗光③閃光④互光⑤モールス符号光です。私が最近登った灯台(日本には登れる灯台が15基あります)は、千葉県房総半島にある野島崎灯台です。日本の洋式灯台では二番目に初点灯しました。野島崎は東京湾に出入りする船舶にとっては、昔からの重要ポイントだったので最優先で建設されたとのことでした。

現在の福祉施設を取り巻く環境は、超少子高齢化を迎え大変厳しいものがあります。そのような中でも、利用者の方に寄り添いながら職員を大切にする私なりの「光り方」を模索して参ります。皆様のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

社会福祉法人 桔梗会

特別養護老人ホームききょうの里
ききょうの里短期入所生活介護事業所
ききょうデイサービスセンター
ききょうの里居宅介護支援事業所
沼田市在宅介護支援センターききょう

ききょうデイサービスセンター岡谷
ききょうヘルパーステーション

〒378-0002
群馬県沼田市横塚町957番地2
TEL 0278-23-8831
FAX 0278-23-8832

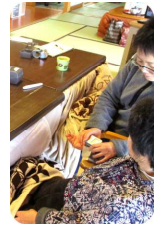
〒378-0061
群馬県沼田市岡谷町687番地
TEL 0278-23-8861
FAX 0278-23-8852

発行責任者 堤 佳史

ききょうデイサービスセンター岡谷

ききょうデイサービスセンター岡谷は、地域密着型のデイサービスです。一日の利用定員が 12 名となっています。小さな事業所で、とてもアットホームな雰囲気を利用者様が過ごすことができます。そんなききょうデイサービスセンター岡谷の一日の様子を紹介させていただきます。

朝は個人毎に行動を開始するタイミングが違うので、利用者様のペースに合わせてお迎えに行きます。



到着すると、健康チェックを行います。

入浴の時間では、個別対応のお風呂なので一人ずつ順番に入っていただきます。



入浴の順番を待っている時間は、塗り絵、脳トレ、カレンダー作りなどをして過ごしています。



給食はききょうの里から運んでいます。本日のメニューはわかめごはん、さわらのフライ、煮物、ヨーグルトです。バランスの良い献立を栄養士が立ててくれます。皆様楽しそうに食事をされ、会話も弾みます。



食後の休息をした後はリハビリ体操をします。リズムに合わせて体を動かします。



15時のおやつです。今日は手作りのみたらし団子です。



帰りの時間が近づき、元気な声で歌を歌った後は帰り支度です

ご自宅まで安全に送ります。
一日ご利用ありがとうございました。



ある朝の何気ない会話から印象に残ったエピソード!!

職員 「今年は雪が少なくて楽でしたね。」

Aさん 「そうかい？気付かなかったねえ・・・。」

職員 「でも、スキー場で働いている人は、仕事が少なくて大変だったみたいですよ。」

Aさん 「それは気の毒だね・・・。やっぱり、喜んでいる人の影には泣いている人もいるかもしれないから、うかつに喜んだりしちゃいけないね。」

その言葉を聞いたとき、ハッとさせられました。降雪が少なく、雪かきをしなくてよかったと喜んでいた私。しかしそのため除雪の仕事を請け負っている方や、ホテル、旅館、民宿など、観光客を相手に生計を立てている方の姿が思い浮かびました。

どんな時も、相手を思いやることを忘れないAさんらしい一言です。Aさんは御年 102 歳になられますが、幼少の頃より大変な苦勞をされてきました。言葉の重みが違います。

そんなAさんの言葉や行動が、私達にいつも大切なことを気付かせてくれます。

Aさん、いつまでもお元気で長生きして下さいね！！



フォトアルバム(行事紹介)

ききょうデイサービスセンターでは利用者様に「一年間の記念写真入りのカード」をプレゼントしています。皆様照れ笑いを浮かべながらも、嬉しそうにされていました。



レクリエーションの時間は、カラオケ、宝さがしなどを楽しんでいます。



手作りの桜の木の前で記念写真を撮りました。



今年の春は外出が出来なかったのですが、ききょうの里の敷地には桜の木があるので、順番に散歩しながら記念写真を撮りました。



今日のおやつは利用者様の手作りのサツマイモ入りベビーカステラです。美味しそうに召し上がっていました。



鬼をやっつける方もいれば、ニコニコと笑顔で記念写真を撮る方もいました。



『ききょうの里給食』

「ききょうの里のご飯は美味しい」と何処からともなく聞こえてくる。うわさ??? いえいえ、「おいしいよ!」「全部食べちゃった!」と本当の声。笑顔になって頂けると「良かった～」と嬉しくて、励みになります。何しろ、人生の大先輩からのお褒めの言葉はとてもありがたいです。

ききょうの里の厨房には、新鮮な野菜や魚、肉、果物などが地元の業者さんから毎日届けられています。私たち給食係は、栄養士が作成したメニューをもとに、その新鮮な食材を一つひとつ洗い、刻み、丁寧に仕込み作業をして「手作り」にこだわって調理しています。栄養のバランスはもちろん、食べやすさや彩りを考え、味を調えながら作り、昼食時には 100 名ほどの食事を用意するため大忙しです。一人ひとりの好みや、苦手なものにも配慮して楽しい時間を過ごして頂けるように心掛けています。「油っぽいのは好きじゃないけど天ぷらは好き!」「魚は好きだけど生臭いのは苦手」「肉は嫌い、揚げ物嫌い」etc …でも大丈夫! 別メニューをご用意します。



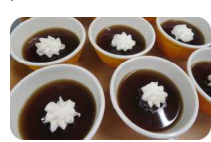
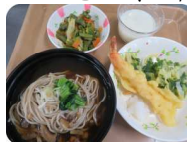
また、毎日の生活の中で季節を味わって頂ける様に、旬の野菜や行事に合わせた食事、お誕生日会などの祝い膳も提供させて頂いています。時にはスーパーでは手に入らないような良質な食材も入荷されラッキーな日もあったりします。

食堂では職員も利用者様と同じメニューを食べています。今日の献立はカレー、ハンバーグ、唐揚げ、ラーメンともなると職員からの注文も殺到!?

ききょうの里での食事が元気な暮らしの役に立つ一膳となるように・・・そんな思いを込めて今日も給食係は早朝から奮闘しています。

「さて、今日のメニューは何かな?」

どうぞお楽しみに!!!



☆☆2020☆☆

施設長 堤 佳史

私にとって2020年は最も暑い年になるはずでした。それは、5年毎に開催される……！？皆さんは、2020年というと東京オリンピック・パラリンピックを想像された方がほとんどだと思いますが、オリンピックは4年毎に開催される競技大会なので違います。5年毎に開催されるのは、ポーランドのワルシャワで行われるショパン国際ピアノコンクールです。第1回は1927年から始まり、2020年で18回目を迎えます。過去の優勝者の中には、1985年にスタニスラフ・ブーニンが記憶に残っていますが、彼はわずか19歳の若さで圧倒的な技術力と表現力で優勝を勝ち取り、当時の日本では「ブーニン・フィーバー」が巻き起こりました。是非演奏を見たくて来日した際にはコンサートに行きましたが、いつも聞くショパンの曲が全く別の曲に聞こえるほどの独奏的な演奏に衝撃を受けた事を思い出します。

あれから35年が経過し、メディアは進化して今回から本選はネット中継をVR（バーチャルリアリティ「仮想現実」）で行う予定でした。これにより、演奏者を間近に映像で見ることが出来、コンサートホールを360度見渡すことが出来ます。この動画を見るためにPSVR（ソニーが発売しているゲーム機）を購入し準備万端でしたが、皆様も十分ご承知である新型コロナウイルスの影響で、予備予選が4月から9月へと延期となりました。残念でやるせない気持ちでいっぱいです。現状から考えると9月も危ういのでは、と心配になります。今は一刻も早い終息を願うばかりです。

ご興味の無い方は非常につまらない内容だったと思いますが、新型コロナウイルス関連の暗い話題だけでは気が滅入ると思い、敢えてこの話題にした事をどうぞご理解下さい。

「移動スーパーたくちゃん」

毎週木曜日の14時30分にききょうの里の利用者様の所に、みなかみ町から「移動スーパーたくちゃん」が来てくれます。なかなか自分で買い物に出られないデイサービスの利用者様と入所者様が自分の目で見て買い物をするというひとときの楽しみになっています。



★今後の予定★

特別養護老人ホームききょうの里（従来型・ユニット型）・ききょうデイサービスセンター・ききょうデイサービスセンター岡谷の行事は、新型コロナウイルスの影響の為、当面の間自粛させていただきます。

「新型コロナウイルス感染症の対策について」

新型コロナウイルスの感染拡大は未だ終息の見通しは立たず、令和2年4月16日には日本政府より「緊急事態宣言」が全国に拡大され、ますます緊張感が高まる状況となっております。

ききょうの里では、令和2年2月26日付けで、職員に対して衛生管理等の徹底を強化すると共にご家族の面会制限や物品等搬入業者等に発熱の有無を確認する等の措置を講じて参りました。4月7日からは、勤務日以外の職員に対して不要不急の外出を避けて自宅待機とする措置や物品搬入業者等に対して施設内への立入を禁ずる等の措置を行い、さらに対策を強化しております。

高齢者福祉施設として、利用者様の命を最優先に考えなければならない立場をどうぞご理解頂き、ご協力をお願いします。

この新型コロナウイルスが終息するまでの間、誠にご不便をお掛けにして申し訳ありませんが、引き続き、感染拡大防止のためご協力下さいますようお願い申し上げます。

